



元気な百姓畑から被災地へ

10月7日、町農業振興会主催の「第20回元気な百姓まつり」が開催され、ボランティアや南伊豆東小・中学生が参加し、手石・湊・青市地区で草刈り、日野の休耕田で菜の花の種まきに励みました。

また、夏に咲いたひまわりの種608粒を採取し、菜の花の種とともに東日本大震災の被災地へ送ります。



平成23年南伊豆町議会9月定例会が9月26日から10月19日まで開催され、「南伊豆町暴力団排除条例制定について」などの議案が原案どおり可決されました。一般会計予算は、これまでの歳入歳出予算の総額に1億3,828万8千円を追加し、予算総額を46億2,785万2千円としました。

行政報告

平成23年南伊豆町議会9月定例会の開会にあたり、次の6項目について行政報告を申し上げます。

1 防災対策について

3月11日に発生しました東日本大震災を受け、「津波対策の推進に関する法律」が6月24日に公布され、同日付けで施行されました。

また、中央防災会議の地震・津波対策専門調査会は、今月17日に防災基本計画の見直しに係る津波対策について、国の行う警報発表の改善や観測体制の強化及び地方自治体が行う津波想定やマニュアルの見直しなどを大幅修正し、拡充する方向を確認するなど、地震防災関係の法令及び計画等が急ピッチで整備されつつあります。

静岡県では、4月15日「津波対策検討会議」を早々に設置し、被害想定等の見直しに着手していますので、静岡県が定める第3次被

害想定の見直しを受け、整合性を図りながら、南伊豆町地域防災計画を見直すとともに、水害対策などにつきましても、避難マニュアル等の見直しを検討してまいります。

今後30年以内の東海地震の発生確率が87%と言われている現状において、短期的防災対策として、6月定例会南伊豆町一般会計補正予算第1号でご承認いただきました防災ラジオにつきましては、10月末までの配布を、避難所用の自家発電機などにつきましても、来年1月末までに配備できるよう準備を進めております。

また、9月定例会南伊豆町一般会計補正予算第2号において計上いたしました津波監視カメラや湊区逢ヶ浜への同報無線屋外子局の設置等につきましても、整備を進めてまいりたいと考えています。

今後の防災対策につきましては、中・長期対策及びハード・ソフトも含め、県との連携を図りながら整備を進めてまいりたいと考えております。

2 節電対策について

3月11日に発生しました東日本大震災以降の電力不足を受け、政府は7月1日、東京電力及び東北電力管内の大口電力需要者に対し、昨年度比15%の節電を義務付ける電気事業法第27条に基づく電力使用制限令を発動しました。

役場庁舎を始め清掃センター等、本町に電力使用制限令の該当施設はありませんが、15%以上の節電を目標に取り組んでまいりました。

本町におきましては、従前から冷暖房運転基準による冷暖房、昼休み中のパソコンや照明等の電源切断及び外灯の間引きなどを実施してまいりました。この夏は、さらに庁舎・事務所の冷房時間短縮、事務室照明灯の間引きなどを実施し、役場庁舎においては、本年3月分から8月分までの去年同期比で、電気使用量が20.94%の減、電気料金が11.59%の減となりました。

また、中央公民館及び体育館等の町民開放施設を含む教育施設等

におきましても、電力使用削減対策を実施し、全体では電気使用量が17.95%の減、電気料金が7.62%の減となり、目標の15%減を達成したところであります。

東京電力は、電力使用制限令を9月9日に解除しましたが、小口需要者に求めている15%節電は引き続き要請する方針ですので、冬の需要期に向け、本町でも節電方針を継続するなど、中長期的な視点で取り組んでまいる考えであります。

3 夏の入込み状況等

(1)夏の観光客等入込み状況

本年7月から8月における観光客の入込み状況がまとまりましたので、報告いたします。

今年は、台風や高波、7月中旬と8月下旬の天候不良、また東日本大震災による原発事故、津波の風評被害などが影響し、全体では214,490人で、対前年同期比78.43%と大幅な減となりました。

分野別に見てみますと、弓ヶ浜海水浴場は57,313人で、対前年同期比68.50%、子浦海水浴場は3,170

庁舎等の電気使用量(料)

6ヶ月(3～8月)合計		平成23年	平成22年	比較	削減率(%)
役場庁舎	使用量(kwh)	101,015	127,777	－26,762	－20.94
	金額(円)	2,088,722	2,362,586	－273,864	－11.59
中央公民館	使用量(kwh)	20,405	25,959	－5,554	－21.40
	金額(円)	779,210	834,808	－55,598	－6.66
武道館	使用量(kwh)	19,050	25,611	－6,561	－25.62
	金額(円)	901,917	920,025	－18,108	－1.97
4小学校合計	使用量(kwh)	102,342	111,161	－8,819	－7.93
	金額(円)	2,388,324	2,497,761	－109,437	－4.38
2中学校合計	使用量(kwh)	56,563	68,257	－11,694	－17.13
	金額(円)	1,270,566	1,370,992	－100,426	－7.33
差田グラウンド	使用量(kwh)	9,312	17,449	－8,137	－46.63
	金額(円)	857,703	983,423	－125,720	－12.78
合計	使用量(kwh)	308,687	376,214	－67,527	－17.95
	金額(円)	8,286,442	8,969,595	－683,153	－7.62

人で、対前年同期比85.61%、中木海岸は21,450人で、対前年同期比80.21%でした。

なお、弓ヶ浜と子浦の両海水浴場では、海水浴客の安全安心を確保するため、放射性物質検査を6月、7月及び8月に実施した結果、両海水浴場とも放射性ヨウ素、放射性セシウムは検出されませんでした。

民宿旅館等の宿泊客数は、民宿が22,554人で、対前年同期比71.05%、旅館等が35,542人で、対前年同期比90.59%、全体では昨年同期比で81.85%となりまし

た。

また、観光施設につきましては、23,768人で、対前年同期比85.77%となっております。

各地域で実施した花火大会を始めとする各種イベントや祭りなどは、18,243人で対前年同期比77.06%となりました。

町営温泉(銀の湯、みなと湯)の利用状況は、27,950人で、対前年同期比87.35%となりました。銀の湯会館が18,499人で対前年同期比88.90%、みなと湯が9,451人で対前年同期比84.48%となっております。

観光施設等の入込状況

(単位：人)

区 分		平成23年			平成22年			前年比(%)
		7月	8月	計	7月	8月	計	
海水浴場等	弓ヶ浜海水浴場	6,290	51,023	57,313	12,470	71,200	83,670	68.50
	子浦海水浴場	1,060	2,110	3,170	995	2,708	3,703	85.61
	中木海岸	5,040	16,410	21,450	6,501	20,241	26,742	80.21
	妻良海上アスレチック	1,200	3,300	4,500	1,000	4,000	5,000	90.00
	小 計	13,590	72,843	86,433	20,966	98,149	119,115	72.56
宿泊施設	民宿宿泊客	4,270	18,284	22,554	8,888	22,855	31,743	71.05
	旅館・ホテル等宿泊客	12,640	22,902	35,542	16,180	23,054	39,234	90.59
	小 計	16,910	41,186	58,096	25,068	45,909	70,977	81.85
観光施設	下賀茂熱帯植物園	1,340	1,402	2,742	1,813	1,557	3,370	81.36
	波勝崎苑	2,430	6,451	8,881	2,765	7,645	10,410	85.31
	石廊崎遊覧船	2,329	4,512	6,841	2,740	6,115	8,855	77.26
	アロエセンター	25	50	75	50	100	150	50.00
	天神原植物園	292	315	607	367	195	562	108.01
	伊豆下田CC	1,929	2,693	4,622	1,819	2,546	4,365	105.89
小 計		8,345	15,423	23,768	9,554	18,158	27,712	85.77

(単位：人)

区 分		平成23年			平成22年			前年比 (%)
		7月	8月	計	7月	8月	計	
イ ベ ン ト	海 中 散 歩 体 験	25	258	283	78	333	411	68.86
	弓ヶ浜花火大会	－	15,000	15,000	－	20,000	20,000	75.00
	中 木 火 祭 り	－	1,500	1,500	－	1,800	1,800	83.33
	妻 良 花 火 大 会	－	1,000	1,000	－	900	900	111.11
	ビ ー チ バ レ ー 大 会	－	460	460	－	562	562	81.85
	小 計	25	18,218	18,243	78	23,595	23,673	77.06
温 泉 施 設	銀 の 湯 会 館	5,894	12,605	18,499	5,613	15,196	20,809	88.90
	み な と 湯	3,004	6,447	9,451	3,397	7,790	11,187	84.48
	小 計	8,898	19,052	27,950	9,010	22,986	31,996	87.35
合 計		47,768	166,722	214,490	64,676	208,797	273,473	78.43

(資料：南伊豆町観光協会)

(2) オープンウォータースイム
レース等の実施状況

6月12日、第2回伊豆国立公園・弓ヶ浜オープンウォータースイムレースが開催され、各地から158人の参加があり、内55人の方に町内へ宿泊していただきました。

続いて、9月11日開催の第1回国際マスターズオープンウォータースイムレースには、各地から187人の参加があり、内80人の方に町内へ宿泊していただきました。この80人の中には、招待選手であるスウェーデンから参加の元オリンピック出場選手、アメリカから取材に訪れたスポーツジャーナリ

ストも含まれております。

また、8月27日、28日の両日は第13回弓ヶ浜ビーチバレー大会が開催され、各地から472人の参加があり、内460人の方に町内へ宿泊していただきました。

このような行事へのサポート体制ですが、8月のビーチバレーの際には、地域宿泊施設関係者及びNPO団体等の手によりパーベキューのおもてなしが実施されるとともに、9月の国際マスターズの際には、観光協会を事務局とする地域実行委員会が前夜祭「黒潮ウエルカムファンクション」を開催し、参加者の歓迎にあたりま

した。

今後は、10月2日に第2回南伊豆・弓ヶ浜アクアスロン大会が開催される予定ですが、既に各地から140人以上の参加申込みをいただいております。当日の大会運営には、地域宿泊施設関係者がボランティアとして参画することになっております。



10月2日開催の第2回弓ヶ浜アクアスロン大会

4 産業振興について

現在の経済状況を見ますと、サブプライムローン問題から端を発し、大手金融機関のリーマン・ブラザーズの破綻など、アメリカ発の経済不況が日本を始めとする全世界に広がりました。

やっと立ち直りが見えてきたところに、3月11日に発生しました東日本大震災は、原発事故、津波の風評被害、計画停電など、当町の経済に対しても、非常に大きな影響をもたらすこととなりました。

加えて、今年の夏の台風、高波、天候不良などにより、観光客の入

込みが大幅な減となるなど、厳しい状況が続いております。

このような状況に対応するため、観光面につきましては、海、山、自然を活用しての通年型のイベント、トップセールスを始めとする誘客キャンペーン、外国人誘客のためのインバウンド事業などを展開してまいります。

また、9月定例会南伊豆町一般会計補正予算第2号に計上いたしました観光協会が行う京浜方面からの誘客事業『伊勢海老号』の運行支援や、商工会が行う『南伊豆プレミアム商品券』の発券支援などにより、町内産業の活性化を図ってまいりますので、ご

審議のほどよろしく願いいたします。

雇用対策につきましても、平成21年度から継続実施しております緊急雇用創出事業により、平成22年度までに15人の雇用を確保しており、今年度も15人の雇用を創出する予定です。

今後とも、関係団体と連携しながら、各施策等を積極的に展開し、産業の活性化を図ってまいります。



5 認定こども園について

認定こども園の建設にあたりましては、「認定こども園建設基本計画」を基に、去る6月28日に入札を行い、長田・平井特定建設工事共同企業体（代表・長田裕二郎 長田建設社長）が3億7,800万円で落札し、7月1日には、南伊豆町議会臨時会でご承認いただき、建設に向けて動き始めました。

また、7月12日には、長田・平井特定建設工事共同企業体主催の「建設工事安全祈願祭」が開催さ

れ、工事の無事完成を祈ったところであります。

なお、現在の進捗状況ではありますが、外溝の擁壁及び敷地中央の河川暗渠化の工事とともに、園舎本体の基礎工事に着手しているところであります。

平成24年4月の開園を目指し、今後とも町民の皆様、保護者の皆様から親しまれ、愛される認定

こども園の建設に邁進してまいります考えであります。



認定こども園完成イメージ

6 主要建設事業等の発注
状況について

平成23年度第2四半期（7月から9月）における主要建設事業等の発注状況は、次のとおりであります。

□ 南伊豆認定こども園建設工事
378,000,000円
長田・平井特定建設工事共同企業体

□ 大規模地震対策事業可搬ポンプ付積載車購入
15,540,000円
(有)東海消防機材商会

□ 大規模地震対策事業消防団用耐火服購入
2,743,650円
(株)平和防災産業

□ 焼却施設定期補修工事
40,845,000円
(株)タクマ

□ 22年度三坂（中木）漁港農山漁村地域整備交付金事業陸閘下部工事
6,949,950円
恵比寿建設(株)

□ 22年度三坂（中木）漁港農山漁村地域整備交付金事業陸閘門扉製作設置工事
11,025,000円
(株)住軽日軽エンジニアリング

□ 23年度三坂（中木）漁港農山漁村地域整備交付金事業陸閘門扉製作設置工事
7,707,000円
(株)住軽日軽エンジニアリング

□ 落居1号橋2号橋補修工測量設計業務委託
11,025,000円
(株)ウエマツコンサルティング

□ 普通河川小沢川河川改修工事
3,916,500円
(有)宇田建設南伊豆営業所

□ 町道成持吉祥線道路改良工事に伴う二条地区配水管布設替工事
5,145,000円
(有)菊池設備工業

□ 三坂漁港水産物供給基盤機能保全計画策定業務委託
5,460,000円
(株)建設コンサルタントセンター

□ 簡易水道等施設整備事業下小野地区配水管布設替工事（第1工区）
36,330,000円
(有)渡辺住宅設備南伊豆支店

□ 簡易水道等施設整備事業市之瀬地区配水管布設替工事
18,669,000円
飯泉設備工業

□ 簡易水道等量水器一斉交換工事
2,415,000円
(株)イナセツ南伊豆支店

□ 町公共下水道事業下賀茂処理分區管渠築造工事（第3工区）
17,281,950円
(株)西田

□ 湊地区配水管布設替工事（第1工区）
4,515,000円
(株)塩崎工業

以上で、平成23年9月定例会の行政報告を終わります。



健診会場にて：山本主任保健師(右)
健康福祉課 主任保健師 山本真美

派遣期間 9月11日～17日
派遣先 岩手県下閉伊郡山田町

活動を通して

震災から半年が経過した山田町では、仮設住宅への入居も進み、仮の住まいではあるが、ようやく落ち着ける場所を確保できたという声を多く聞きました。

今回の活動は、心血管疾患の増加やPTSD（心的外傷後ストレス障害）の発生など、災害が被災

者の健康に与える影響について調査するもので、今後も長期間の追跡調査が行われる予定です。被災者の生活基盤を立て直すことが最優先されますが、健康管理という問題も、今後の生活において重要課題であることを再認識しました。

また、活動を通じて、山田町の職員や町民の方々と話をする中で、今回のような甚大な被害の場合、行政による救援は遅れ、住民同士の地域のコミュニティが重要な役割を果たしたことを教えていただきました。いくら堤防などの建造物で防ごうとも自然の脅威は計り知れず、町民同士が互いに手を取り高台に逃げ、地域の力で多くの命が救われたこと、避難所においても励まし合いながら苦境に立ち向かっていたこと等、住民同士の絆、コミュニティの重要性を痛感

しました。今後の復興に向けても、住民が主体となった取組み、コミュニティを重視した町づくりが大切であると考えます。

今回の派遣での活動は、災害後の健康課題だけでなく、地域を中心とした活動の大切さを学びました。貴重な機会をいただいたことを感謝します。

被災地での活動内容

□被災者健康調査の問診業務



活動を通して

被災地は発災からちょうど6カ月が経過し、落ち着きを取り戻しつつあるような印象を受けました。

発災後の初動時における地域の連携にあたる、興味深い事実を聴きましたので紹介します。

発災後、山田町の沿岸部は津波およびそれに伴う火事により壊滅的な被害を受けました。これは、津波自体の威力とともに道路ががれきの山と化したことにより、消火作業が全くできなかったことが原因です。火事は山林火災にまで発展しています。

ただし、これは沿岸部の状態であり、山間部は停電をはじめライフラインに支障はあったものの人的な被害や家財等の損失はなく、発災翌日には発電機による精米を

して、沿岸部へ1万個のおにぎりの炊き出しを実施しました。4月末まで1日平均4～5千個の炊き出しを実施し、地域が一丸となって災害に立ち向かったそうです。

三陸と伊豆半島の地形は良く似ていました。

今後、想定される東海地震の発災に一丸となって立ち向かえる地域でありたいと思いました。



派遣先の山田町に隣接する宮古市田老地区。地上三階まで被災しています。

実りの収穫を体験



9月28日、南中小学校5年生と南伊豆幼稚園、南崎保育所の園児が、加納の水田で稲刈りを行いました。農協青壮年部が、食育と農業体験の一環として毎年行っているものです。

9月29日、南上小学校5年生が稲刈りを行いました。総合学習の一環として、南伊豆町が発祥地の米「愛国」の田植えから稲刈りまで体験し、収穫した米で食味会や学習発表を行います。



弓ヶ浜の海と陸で熱戦



泳ぎ終わりランニングへ向かう選手

10月2日、弓ヶ浜海岸で第2回南伊豆・弓ヶ浜アクアスロン大会が開催され、県内外から183人が参加しました。初心者部、一般部それぞれのコースで泳ぎ、続けて海岸道路を力走し順位を競い合いました。

堂々の3位入賞



3位に入賞した南伊豆町剣道スポーツ少年団のメンバー

10月8日、第30回静岡県警察少年柔道・剣道錬成大会が静岡市で開催され、南伊豆町剣道スポーツ少年団女子Aチームが団体戦で3位に入賞しました。選手らは、「指導してくれる先生や、送迎してくれる親に感謝します」と語りました。

4.54^{キロ}のワラサで優勝



優勝した池田さん（左から2人目）

10月2日、黒潮フィッシング大会が開催され県内外から105人が参加しました。釣り船16隻に分乗し、神子元島周辺や下田沖で釣果を競い合い、その結果、4.54^{キロ}のワラサを釣った神奈川県の池田さん（寿広丸乗船）が優勝しました。

新鮮な地場産品が人気



姉妹都市・塩尻市の新鮮な野菜を買い求める人々

10月23日、第8回フェスタ南伊豆が中央公民館で開催され、地元産業団体や姉妹都市の長野県塩尻市による地場産品の展示販売や健康測定などが行われました。また、団体貸切列車「伊勢海老号」の観光客もバスで会場に訪れました。

今月のおすすめ



「清貧と復興」
出町譲著／文芸春秋
戦後復興に全力を尽くし、晩年は国家再建に命を燃やした。贅沢を嫌い、社長時代も生活費は月3万円。「メザシの土光さん」の話を聞こう。



「たとへば君」
河野裕子・永田和宏著／文芸春秋
昨年8月に乳がんで亡くなった歌人の河野裕子さん。出会い、結婚、子育て、発病、再発、そして死まで、先立つ妻と交わした愛の歌。



「すべてを明日の糧として」
宇梶静江著／清流出版
詩人・絵本作家・アイヌ復権の旗手、宇梶静江。アイヌというだけですさまじい差別といじめに遭い続けた。その苦悩のはての、勇気と再生の物語。



「マスカレードホテル」
東野圭吾著／集英社
不可解な連続殺人事件の次の犯行現場は、超一流ホテル。容疑者も、ターゲットも不明。事件解決のため、一人の男が選ばれた。完璧に化けろ。



「憂鬱でなければ、仕事じゃない」
見城徹・藤田晋著／講談社
小さなことにくよくよしないで、大きな仕事ができるわけがない。何が大切で、何が無駄か？見城徹＋藤田晋の魂が紡いだ35の言葉。



「無罪」
深谷忠記著／徳間書店
息子と妻をシンナー中毒の通り魔に殺された男。我が子2人を殺しながら心神喪失で無罪となった女。無罪判決が下された時本当のドラマが始まる。



「前向き。」
吉沢久子著／マガジンハウス
認知症にならないためには料理。自分を甘やかさず、気を抜かず。怖い思いも不安も切り抜ける「仕方がない」の効用。前向きスイッチONの知恵。



「心に吹く風」
宇江佐真理著／文芸春秋
一人息子の伊与太が修業先からとびだして家に戻ってきた。伊三次とお文夫婦の心配をよそに、奉行所で人相書きを始めるが。シリーズ最新版。



「地宝論」
田中優著／子どもの未来社
地方には知恵を持った農家が養蜂家が、製材所が牛や豚の飼育農家が漁業組合がNPOがいる。市民バンクも増えてきた。日本にはまだ可能性がある。



「死なない病氣」
渡辺淳一著／新潮社
派遣村よりひきこもり村を！ウツスよもつと浮気しろ！草食系なんて嘘っ八！女性作家が笑って打ち明けた病名は？型破りで胸に沁みるエッセイ。

－新着図書案内－

世界を変えた10冊の本
死を語り生を思う
古墳とはなにか
家の履歴書
中国は、いま
復興の精神
喜婚男と避婚男
はじめての認知療法
がんにならない生き方
転ばない歩き方
こはんですよ
世界の切子ガラス
緑の毒
警官の条件
転迷
作家のへその緒
一生、女の子
よなかの散歩
向田邦子
飢えのリトルネロ

池上 彰
五木 寛之
松木 武彦
斎藤 明美
国分 良成
養老 孟司
ツノダ姉妹
大野 裕
丁 宗鉄
田中喜代次
なかしまほ
谷 一尚
桐野 夏生
佐々木 譲
今野 敏
池内 紀
田辺 聖子
角田 光代
小学館発行
ル・クレジオ

大型絵本をご利用ください

図書館には、普通の絵本より何倍も大きく、開くと1台近くにもなる大型絵本が27冊あります。学校や保育所、幼稚園、おはなし会などで読むと大変喜ばれます。お話の主人公が大迫力で目の前に迫ってきて、子どもたちの目が輝きます。

昔話もありますので、高齢者への読み聞かせにも、どうぞご利用ください。



本を大切に扱いましょう

「本を少し破いちゃったので弁償させてください」「この程度ならこちらで修理できますし、読めないわけではありませんので大丈夫です」しかし、まれに汚損がひどく、弁償していただく場合があります。

次に読む人のことを思っでご利用ください。

健康レシピ



焼きキャベツの スープ仕立て



ここがポイント！

- ・ロールキャベツを焼くことで香ばしく、甘みが増します。
- ・乳製品の苦手な方も、おいしく食べられる一品です。

南豆味会 小室美恵子

毎月19日は食育の日！
～「いただきます」から始まる食卓～

▷ 材料／4人分 ◁ (1個分エネルギー174kcal、塩分1.1g)

玉ねぎ……………1/2個(100g)
チーズ……………40g
キャベツ……………8枚(320g)
鶏ひき肉……………200g
A
片栗粉……………小さじ2
ケチャップ……………大さじ1
塩……………小さじ1/3
こしょう……………少々
バター……………10g
塩……………小さじ1/3
こしょう……………少々

▷ 作り方 ◁

- ①玉ねぎはみじん切りにし、チーズは1cm角に切る。
- ②水400mlを沸騰させキャベツを茹で、ざるにとり湯をきる。茹で汁は捨てないでとっておく。
- ③ボウルに鶏ひき肉、玉ねぎ、チーズを入れ、Aの材料を加えて混ぜ合わせ、②のキャベツで包む。
- ④フライパンにバターを溶かし、③をこんがりと両面よく焼き、②のゆで汁を加えてふたをし10分程煮込み、塩・こしょうで味を調える。

塩尻の秋の味覚 「新そば」を味わいませんか

「風俗文選」に「蕎麦切りというは(いうのは)、もと信濃の国本山宿より出て、あまねく国々にもてはやされける」と記されたことによります。この地域では、今でも多くの家庭で、ソバ打ちの技術が伝えられているそうです。

塩尻のソバは、朝夕の寒暖の差が大きい標高800m付近の畑で栽培されることから、風味が濃く、のど越しも良いことが特徴です。特に本山地域で栽培された玄そばを使った、香り高いそばは、市内外の皆さんから愛され、親しまれています。

新そばの季節。信州への紅葉狩りの道中、ひと味違う塩尻のそばを堪能しに、ぜひ立ち寄りください。

問合せ 塩尻市観光協会
☎0263-54-2001



平成24年度 保育所・認定こども園入園申込受付

平成24年度の保育所・認定こども園への入園申込を、以下のとおり受付します。当日はお子さんの健康状態等を確認するための面談を行いますので、入園希望のお子さんと一緒にお願いします。

入園対象児童

- 保育所および認定こども園長時間部は、入園月の初日に満10ヶ月に達している児童から小学校就学前の児童となります。
※「保育に欠けること」が入園の要件となります。
- 認定こども園短時間部は、平成24年4月1日時点で満3歳に達している児童から小学校就学前の児童となります。
※南崎保育所では、保育に欠けない児童（私的契約児）であっても、平成24年4月1日時点で満3歳に達している児童から小学校就学前の児童を入園対象とする予定です。

受付日時

11月21日(月) 13:30~15:00

受付場所

中央公民館 1階ホール

対象

- 平成24年4月から入園対象児童の入園を希望する方
- 育休復帰等のため年度途中に入園対象児童の入園を希望する方
- 平成24年4月から南崎保育所で保育に欠けない児童の入園を希望する方

※上記日程で都合の悪い方に限り、11月22日(火)から25日(金)まで(祝日を除く)、教育委員会では入園受付を行います。ただし、面談は指定する保育所または幼稚園で行います。

問合せ

教育委員会 学校教育係 ☎62-0604



年末調整・青色申告決算説明会の開催

◆年末調整説明会（法人および個人の白色申告者）
日時 11月24日(木) 13:30~15:30
場所 下田市民文化会館 大ホール
※関係書類は、対象の方に事前に送付しますので必ず持参してください。
◆青色申告決算説明会（個人の青色申告者）
日時 11月24日(木)
①10:00~12:00 ②13:30~15:30
場所 下田市民文化会館 大会議室
※①、②は同じ内容です。平成23年分から青色申告決算書用紙は確定申告書用紙に同封します。
※不足する書類がある場合は、説明会場または下田税務署で配布します。
問合せ 下田税務署 ☎22-0185

心の健康フェア2011

①ハートフルアート展
精神に障害のある方たちが、心を込めて制作した作品の展示会です。
日時 11月26日(土)~12月2日(金) 9:00~16:30
※12月2日(金)は14:30終了
②ジョイントコンサート
精神に障害のある方たちや特別ゲストによる合唱やバンド演奏！
日時 12月2日(金) 11:00~14:45
③バザー・うまいもの市
障害福祉サービス事業所で作られているものを、ぜひご賞味ください。
日時 12月2日(金) 10:00~15:00
①②③会場 静岡市民文化会館（静岡市葵区駿府町2-90）
問合せ 県精神保健福祉協会 ☎054-202-1220

第4回 南伊豆を知ろう会

日時 11月19日(土) 13:30~
会場 中央公民館
内容
・田中 潤（学習院大学文学部助教）
「石室権現と伊豆山修験」
・西村慎太郎（国文学研究資料館准教授）
「近代南伊豆の石材生産と流通」
※参加費無料、予約不要
※東洋美術学校による古文書修復の
パネル展示も行います。
問合せ 教育委員会 ☎62-0604

静岡県民俗芸能フェスティバル

伊豆南・東海岸に伝承されている民俗芸能の魅力を広く伝え、また震災復興支援事業として、岩手県大船渡市の「虎舞」も上演します。
※下賀茂の籠獅子も参加します。
日時 11月23日（水・祝） 13:30~16:00
会場 伊東市観光会館（伊東市和田1-16-1）

公演
・北川鹿島踊り（東伊豆町）
・湯川鹿島踊り・お船歌（伊東市）
・下賀茂籠獅子（南伊豆町）
・大船渡市長メッセージ
・基石組虎舞、門中組虎舞（大船渡市）
問合せ 県教育委員会文化財保護課 ☎054-221-3183

あざれあ 企業ガイダンス

内容 企業が学生に対し、業務内容、採用計画等を説明します。
日時 12月3日(土) 13:00~16:30
会場 県男女共同参画センターあざれあ（静岡市駿河区馬淵1-17-1）
対象 県内で就職を希望する学生
問合せ 県男女共同参画課 ☎054-221-2824

平成23年度 第2回狩猟免許試験

＜狩猟免許試験＞
日時 平成24年2月19日(日) 9:00~
試験会場 下田総合庁舎（下田市中531-1）
免許の種類 わな猟
申請手数料 5,200円
※法律により一部試験科目が免除される方は3,900円
申請期間 12月19日(月)~平成24年1月20日(金)
提出先 賀茂農林事務所森林整備課 ☎24-2082

＜予備講習会＞

日時 平成24年1月7日(土) 9:50~16:00
会場 静岡労政会館6階ホール（静岡市葵区黒金町5-1）
講習内容 法令講義、鳥獣の知識と判別、実技講習など
受講料 7,000円（教材費、昼食代含む）
申込期間 11月1日(火)~30日(水)
申込先 (社)静岡県猟友会事務局 ☎054-253-427

※この予備講習会はあくまで県猟友会による事前の講習会です。狩猟免許試験の申請を免除されるわけではありませんのでご注意ください。

11月25日~12月1日は 「犯罪被害者週間」です

犯罪被害者は、犯罪被害による直接被害のほかに精神的、経済的、時間的な困難や負担、報道によるストレスなど被害後に生じるさまざまな問題に苦しめられています。
本人はもちろん、その家族の方も「突然のことで何をどうしてよいのか分からない」「法的なことや今後のことを相談したい」「専門的なアドバイスを受けたい」「誰かに話を聞いてもらいたい」という時は、ためらわずに下記機関まで相談を。秘密は厳守、相談は無料です。
問合せ 下田警察署警務課相談係 ☎27-0110
県警察本部警察相談課犯罪被害者支援室 ☎054-271-0110
NPO法人静岡犯罪被害者支援センター☎054-209-5533

11月は「計量強調月間」です

計量に関する相談窓口
静岡県計量検定所
☎054-278-8311
産業観光課 商工観光係
☎62-6300

人権相談制度をご利用ください

10月1日、総務大臣から人権擁護委員として、鈴木正志さんが委嘱されました。
人権擁護委員とは、差別やいじめ、児童虐待や高齢者・障害者の方などの人権に対する身近な相談の窓口になってくれる方です。相談は無料です。相談内容など秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。
問合せ 町民課 ☎62-6222



上賀茂 鈴木正志さん

平成23年度 人権相談日程		
年 月 日	時間	場所
23年 11月4日(金)		
12月8日(木)	10:00~15:00	役 場
24年 1月13日(金)		
2月15日(水)		
3月9日(金)		

赤ちゃん誕生おめでとう			
地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
湊	土屋 結 斗	9.10	圭司・唯希衣
青市	藤原英美里	9.12	克則・亜樹

結婚お幸せに		
地区	お名前（旧姓）	婚姻日
石廊崎	鈴木英俊・恵（加藤）	9.7
中木	高野拓也・美沙(杉原)	9.25

お悔やみ申し上げます			
地区	氏 名	年齢	月 日
蛇石	箱 田 一 三	69	9.3
妻良	飯 田 久 夫	62	9.9
大瀬	山 本 新 美	57	9.17
大瀬	山本吉之助	94	9.18

平成23年9月1日から9月30日までに届出のあったもの（敬称略）
※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時にお申し出ください。

人の動き (10月1日現在)	
世帯数	4,039世帯
人 口	9,434人（-17）
男	4,512人 女 4,922人
-----（9月中）-----	
転 入	11
出 生	3
転 出	21
死 亡	10

11月は
国民健康保険税・介護保険料
後期高齢者医療保険料
国民年金保険料の納付月です

納期限内に忘れずに納めましょう。
税金・料金の納付は便利な口座振替で!!
申し込みは、各金融機関窓口まで。

10 広報みなみいず 2011.11

11



ま ち の 人

きっかけは、
「この山をどうにかしないと」

石井 静 夫 さん（毛倉野）

45歳まで水産会社に勤務し営業職に従事。
その後、森林組合で5年間研修を積み、林業の会社を立ち上げる。

林業を志したきっかけは、水産会社に勤務していた頃、町内や賀茂郡内の荒廃した山をふと見たときに「この山をどうにかしないと」と思ったことです。

ゼロからのスタートなので実績がなく、始めは大木を切るなど、できる仕事を1人でやっていました。人間関係に恵まれ会社をおこすことになり、現在は7人の正社員とともに働いています。7人の平均年齢は30代。なかには、石川県出身の人もいます。

現場の仕事はきつく、だからこそ職場は明るくしたいです。若い人たちと汗水たらして一緒に働き、彼らの考えをどうやってうまく反映させるかを常に考えています。いろいろとおもしろい考えを持っているので、自分も勉強になります。

若い人たちが伸びることによって会社も活気が出てきます。彼らが先頭に立ち、やりがいを持って仕事ができる職場を目指しています。

健 康 一 口 メ モ

インフルエンザに要注意！

インフルエンザは、急に38度以上の高熱が出るのが特徴で、倦怠感・筋肉痛・関節痛などの全身症状も強く、重症化すると脳炎や心不全を起こすこともあり、体力のない高齢者や乳幼児などは命にかかわることもあります。

インフルエンザの予防方法

- ①流行前にワクチン接種を受けましょう。
- ②栄養と休養を十分とりましょう。
- ③人ごみを避けましょう。
- ④加湿器などで適度な湿度を保ちましょう。
- ⑤手洗いとうがいをしましょう。
- ⑥マスクを着用しましょう。



問合せ 健康福祉課 ☎62-6233

ス マ イ ル キ ャ ッズ



毛倉野 松井 翔太郎くん（1歳6か月）

いつも元気いっぱいです！

広報みなみいず 11月号

2011 No.497

発行日／平成23年11月1日
発 行／南伊豆町 編集／企画調整課 印刷／(有)サン印刷
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂328-2
TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119
町のホームページ
<http://www.town.minamiizu.shizuoka.jp/index.php>

編 集 後 記

季節外れの桜が咲いているところがありました。
台風や気温などの影響によるものでしょうか。かわいらしい花が周りを和ませているようです。 ☺

広報みなみいずは、再生紙を利用しています。